



No.48

平成29年
12月1日発行

かみかわ町 議会だより

➤ 議会を傍聴しませんか？

第5回定例会は12月6日(水)

【午前9時～】一般質問等から13日(水)を予定しています。



「元原納涼祭」

(撮影者「フォーカス友の会」舟山 俊策さん
根岸 清さん)

7月16日の日曜日、毎年恒例になっている子ども会育成会共催の納涼祭が元原集会所で行われました。当日は、たくさん子ども達と保護者及び地域の皆さんが参加し、交流が図られました。日頃あまり顔をあわせることのない子ども達と地域の人達とのコミュニケーションを育むいい機会となっています。

● 主 な 内 容 ●

- 平成28年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定など承認
- 平成29年度神川町一般会計補正予算(第2号)など補正予算を可決
- 神川町営住宅条例の一部を改正する条例などを可決

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

定例会のあらまし

平成29年度第4回神川町議会定例会は9月5日から15日までの11日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された平成28年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定について、平成28年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について等の特別会計決算、平成29年度神川町一般会計補正予算などで20件、報告2件、陳情6件、議員派遣の件等、併せて31件の案件が審議されました。

町政に対する一般質問

一般質問は、9月5日に行われ、9名の議員が町長をはじめ町当局の考えを質問しました。概要は、次のとおりです。



柴崎 愛子 議員

環境整備の充実について

「トイレの整備状況・指定管理者制度について」

城峯公園の冬桜観光シーズンに多くのバスツアーの方が来場します。

昨年は、はとバス、小田急トラベル、富士急トラベル、読売旅行さんが利用して下さっていました。どちらの会社も盛り沢山のスケジュールで、移動先のトイレで20分待ちは大変とのことでした。一般の来場者と観光バス2台、3台が一緒になった時に、簡易トイレの設置が必要だと思いますが、町の考えを伺います。

次に指定管理制度のあり方についてですが、冬桜の開花期間中、城峯公園冬桜協力金として、来場者から1人200円を頂いています。協力金であるならば、払うことが義務と思われるような徴収の仕方、また預かったお金の収支がゼロになるような指定管理制度のあり方の見直しが必要だと思いますが町の考えを伺います。

答え 町長

「誘導看板の工夫、協力金は廃止で検討します」

現在、城峯公園内全部で女性用は12室あります。ふだんは数が足りないということはありませんが、冬桜の観光シーズンともなると、観光バスが2台、3台と重なってきた場合、順番待ちの列ができることもあります。

このことから、現地ではトイレ場所の表示、案内を行っておりますが今後も、指定管理者と誘導看板の表示方法などを工夫していきます。

たいと考えております。

冬桜の観光シーズンに簡易トイレを設置することについてですが、以前女性専用として設置したこともありましたが。しかし、利用者が年々少なくなり設置を取りやめた経緯もありますので、現在は設置を考えておりません。

次に、指定管理者制度のあり方についてお答えします。これまで指定管理者自主事業の一環として、冬桜のシーズンに来園者から協力金として1人200円をいただいております。この協力を冬桜の病気の駆除や応急処置などの管理、冬桜苗の育成などに充ててきましたが、管理等に一定のめどが

立ったこと、指定管理者より協力金は募らない旨の協議書が提出さ

れたため、町では募らない方向で検討しているところでございます。



川 浦 雅 子 議員

子育て支援について

「子どもを安心して預けられる環境整備を」

労働者の有給休暇の現状は、大量の仕事が少ない人数で、長時間労働でこなしているため、休むと同僚にしわ寄せが行く、等の理由で取得がためらわれています。

有給休暇が時効消滅する制度を持つ国は、日本以外には見当たらない（厚労省）そうです。

この様な労働環境で働く子育て世代を公立学童、児童館、病後児保育、休日保育等の創設で応援して頂きたいと思いますが町のお考えを伺います。

答え 町長



「認定こども園の開園に向け検討してまいります」

公設公営の学童保育所や児童館、児童センターですが、幼稚園、保育園も築40年近く経過していることから、現状のままでの跡地利用は厳しいと考えております。

また、病後児、休日保育等の取

り組みですが、現状ではこれらの事業は実施できない状況ですが、そのニーズは少なくはなく、新たに設置する認定こども園の大きな特徴の一つとなるとともに、子育て支援のさらなる充実につながるものと考えておりますので、認定こども園の開園に向け検討してまいります。



公共交通について

「認知症推計値と運転免許証返納の受け皿は」

全国的に高齢者ドライバーに依る交通事故が多発しています。広報にも「高齢者65歳以上の4人に1人が軽度者を含め認知症」とあります。住民の方々から、運転を断念してからの通院や、買物の移動手段確保を要望する声が多くあります。車がないとどこへも行けないこの地域で、公共交通の維持、整備は緊急の課題ではないですか、町のお考えを伺います。

答え 町長



「中長期的な視野で対策を講じたい」

町でも生活全般を支え認知症患者

者を含む高齢者が住みやすいまちづくりを進める上で、運転免許証返納に伴う公共交通などの移動手段を確保していくことは、重要であると認識しております。

現在、運転免許証返納の受け皿

となる取り組みとして、タクシー利用料金補助などがございます。また、人口減少により公共交通機関の利用者数が減少していく課題もございます。

これらの課題については、我が町だけでなく近隣市町や全国の市町村で同じような課題を抱えており、従来の交通政策に加え、まち

づくりと一体になった政策が必要になると考えております。現在策定しております第2次総合計画に、こうした課題に対する政策理念を盛り込むとともに、超高齢人口減少社会に対応できる体制を整備し、中長期的な視野で対策を講じてまいりたいと考えております。

交通安全対策について

「ドライバーへの注意喚起を」

住民の方々から、通学路を抜け道として使うのはやめて欲しい。グリーンベルトがあっても時速を守らない車を何とかして欲しい等、多くの要望がありました。しかも幾年も前からの危険箇所です。町ではどのような対策をお考えですか。

答え 町長

「引き続き啓発活動を実施します」

町では、交通事故防止のためドライバーへの運転マナー啓発が重

要と考え、児玉警察署をはじめ町内の交通安全関係団体と連携し、ドライバーへの啓発活動に努めているところです。

議員ご指摘のとおり、通勤時間帯における幹線道路からの抜け道として狭い道路が利用され、児童生徒の通学時間帯と重なる状況は

認識しており、交通事故を未然に防ぐため町として児玉工業団地通勤者には、児玉工業会を通じて通勤時に幹線道路を利用してもらうようお願いを行っております。

と、朝の立しよう指導による事故防止活動をお願いしてまいります。また、幹線道路からの抜け道や狭い道路におけるドライバーへの注意喚起看板につきましても、設置場所などを含め検討してまいりたいと考えております。



滝沢邦利議員

小・中の社会学習について

「小・中の成長過程で社会に対する自己判断力を強化する学習教育は」

人を育てる一番重要なポイントは、書き言葉や画像、映像、溢れる情報の中から正しく判断、理解しその持つ意味や目的を正しく自己判断する能力の強化が求められると考えます。今年度の小学校の授業参観を拝見し、社会の事象を捉えプレゼンテーションする力は養えていると評価できました。中学生議会では、問題の本質を捉え、事前調査、解析力など格段の成長が見られます。更なる成長強化にリテラシー（読解記述力）概念の取り込みで、「理解・解析・分析」力の向上を図り理論的な記述力の強化が重要と考えます。リテラシー「コミュニケーション

シヨン、ロジカルシンキング、シミュレーション、ロールプレー、プレゼンテーション」の5つの能力の向上が不可欠ではないでしょうか。相手が理解し、説得力のある言葉で伝える力の育成をお願いします。

答え 教育長



「時代に求められる資質、能力を育成します」

町では、教育振興基本計画を策定し「未来を切り拓く豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成」を教育目標に掲げ、さまざまな施策に取り組んでいます。その取り組みの結果、学力、道徳心、体力

は向上傾向にあります。

子供たちが未来社会を切り開くための資質、能力を一層確実に育成すること、社会に対する自己判断力を育成することは、大変重要だと認識しています。各学校との連携を深め、キャリア教育をより一層充実させ、社会に開かれた教育課程を推進し、リテラシーを含め、これからの時代に求められる資質、能力を子供たちに育成するよう努めてまいります。

いづもの自立心育む教育について

「認定こども園完成を目指して自立性を育てる教育体制の構築は」

認定こども園の子育てには、グローバル時代に適応する「自立心を育てる教育」が重要と考えます。医学博士のマリアモンテッソーリが構築した教育法で「こどもは自らを成長発達させる力をもって生まれ

てくる。大人はその要求を汲み取り自由を保証し自発な活動を援助する存在に徹する」を趣旨とした素晴らしい教育として世界中で取り入れられています。自立と集中力を養うメソッド（早期教育・幼児教育）は埼玉県に14施設、国内各県に網羅され、例えば中学生棋士藤井聡太

四段、オバマ米国前大統領、英国王室の王子、経済学者P.F.ドラッカーなど多くの著名人が育っています。町も幼稚園、保育所の職員、関係者は「人づくりナンバーワン」をテーマにモンテッソーリ教育の研究に取り組まれては如何でしょうか、町のお考えを伺います。

答え 教育長

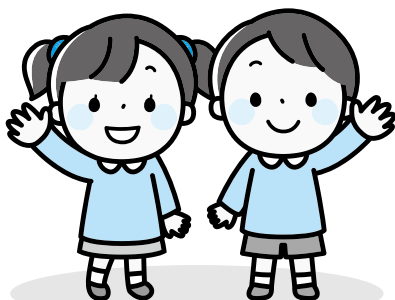


「生きる力の基礎を育成します」

現在幼稚園では、「心豊かでたくましい子」を教育目標に掲げ、子供たちに生きる力の基礎を育成するために、幼児教育の充実に努めています。

自立性を育てる教育体制として、みずからが考え、工夫しながら、自信を持って行動する力を育成することは、大変重要だと認識しています。そのような力を幼児に身につけさせるためには、教員の指導力を向上させ、充実した保育を

実践し、子供たちに生きる力の基礎を育むことができるよう支援してまいります。





清水敏信議員

第2次総合計画について

「第2次総合計画の基本的な考えは」

まず、第1次総合計画では、基本構想、基本計画の2階建ての計画になっており、特に基本構想については、地方自治法でその策定が義務づけられておりました。しかし、平成23年にその義務化は廃止されており、これはそれぞれの地方自治体が知恵を絞り、創意工夫のもと、それぞれの自治体に合った総合計画を作成していくことが最善の策として、国が判断したものだと思われまます。

総合計画は、町の最上位計画と位置づけられた重要な計画ですので、その計画期間が終了を迎えるに当たっては、当然10年前の計画が現在の町にどう生かされたのか、計画どおりに進んだのか、その目標達成度や評価、または検証をしっかりと行った上で次の計画に生かしていくものだと思いますが、どのようなお考えなのか伺います。

答え 町長



「町民のニーズに沿った政策を検討して第2次総合計画を作成します」

現在、第1次総合計画で策定した目標についての達成度を分析しており、昨年度実施したまちづくりアンケートから町民目標の満足度を図り、一方で行政目線から事業の達成度を図ることで、両面か

ら総合的な検証を行います。

また、これに対して第1次総合計画で定めた目標から、まだ達成できていない課題を、事業内容を含めて検討してまいります。今後

も町民の皆様のニーズに沿った政策を効果的に実施できるかを多角的に検討して第2次総合計画を作成してまいりたいと考えております。



坂本貴佳議員

神川町の活性化について

「神川ゆるゆるランドの集客資源活用は」

神川町も人口減少が始まり、将来1万人を切る人口統計が出ています。人口減少に伴う経済の衰退が目の前に迫っている今、都心から約1〜2時間の地の利、豊かな自然を生かした観光資源で、この町の活性化ができないだろうか。自然と観光とを併せ持つ場所の一つとして、神川ゆるゆるランドがある。多目的広場、サッカー場、野球場、ターゲットゴルフ場、温泉施設、オートキャンプ場を持ち、その周辺には、春の桜、夏のブルーベリー・ヒマワリ、秋のコスモス・アカシヤ等、たくさん集客手段があり、体験型観光にも対応できる。

町内には、他にも沢山の観光資源があり、自然豊かな観光資源を利用した施策は、人口減少による経済衰退の負のスパイラル脱出手段の一つとして有効と考えるが、町の方針をお伺いいたします。



ゆ〜ゆ〜ランド

答え 町長

「情報発信を行い、リピーターの増加を目指します」

町は、自然豊かな地域であり、多くの集客施設が存在しています。中でも神川ゆ〜ゆ〜ランドは、家族連れがピクニックで楽しめる多目的広場や温浴施設等が整備された総合公園の役割を担っており、春に

は桜、秋にはコスモスが咲き、訪れる人々の目を楽しませてくれます。ことは、夏の花としてヒマワリの種を町民の皆さんにもまいていただき、黄色一色となったヒマワリ畑は大変好評でありました。このように季節ごとの花があることで、いつ訪れていただいても楽しんでいただけるようライン、ツイッター等SNSやホームページを活用するとともに、記者発表による情報発信を行い、リピーターの増加につなげていきたいと考えております。



ヒマワリ畑

神川町の未来に向けて



落合周一 議員

「7年間の総括・現時点の行政・町の将来の姿は」

神川町の町長として7年と半年が過ぎようとしています。神川町の行政の長として腕を奮ってまいりましたが、町長はこの7年間でどの様に考えておられるのか、また反省しておられるのか伺いたします。また現在取り組んでいる「認定こども園の設立」また「包括ケアシステムの構築」などの施策について、その基本コンセプトについて、そして私の大好きな神川町を、町の人々を将来どの様な町に導こうとしているのか伺います。最後に清水町長が、目指そうとする神川町の将来が残り数カ月で成し遂げられるとは思えないのですが、次の4年間も町長として神川町を引っ張って行くつもりなのか伺いたします。

答え 町長

「さらに大きく前進させたい」

就任以来、何事にも全力で取り

組むを信条とし小さくても輝ける町にとの思いで、できることはすぐに実行、どうしたらできるかを考え、諸施策を実行してきました。町民の皆様が安心安全に暮らせる町とするため、議員の皆様のご理

解、ご協力をいただきながら、町民の負託に応える実績を積み重ねることができたと考えています。公約として掲げながら実現できなかった事業もあり反省すべき点もありますが、住民目線に立った町政の運営を心がけ、なお一層の努力をしたいと考えています。

認定こども園についてですが、地域における創意工夫を生かし、神川ならではの特色ある園をつくっていききたいと考えています。地域包括ケアシステムについては、全世代に向けて切れ目のない

支援をすることで、問題の効果的な解決を図っていききたいと考えています。

これからの神川町は防災分野を軸に考えて、自助、共助、公助の取り組みを推進していき、安全で安心して暮らせるまちづくりを実現していきます。小さくても輝けるまち神川、持続可能なまちづくりをコンセプトにまちづくりを進めてきましたが、これからも神川町のさらなる発展のために、2期8年の実績と反省を生かし、さらに大きく前進させたいと思います。



廣川 学 議員

町内の小中学校の環境等について

「通学靴・神泉小学校・児童生徒の学習状況は」

教科書を入れたランリュックは非常に重く、登下校時の元気な子供達の姿を失わせています。中学校では、靴が重く、登下校時にバラン

スを崩し、自転車ごと転倒したというのも聞いております。

町としては、この現状を把握しているのでしょうか。そして、対策は考えているのでしょうか。

次に、神泉小学校に通学する児童を増やすために、町はどうしますか。

また中学校では、保護者の欲しい情報が学校からもらえないという話を耳にしております。そのあたりを教育委員会は把握しているのでしょうか。宿題等に関しても、神川町の生徒たちの未来のためにも、もう少し学力があればと思いますので教育委員会の見解をお答えください。

答え 町長



「より良い環境整備に努めます」

今後における神泉小学校への町の考え方ですが、引き続き小規模校のよさを生かした教育の推進と、町が現在行っている町営中居住宅の減免制度、第3子以降給食費の無償化、ランリュック補助制度など、他市町村に向けて情報発信していきたいと考えます。さらに、今後山村留学制度等の導入を検討してまいります。

答え 教育長



町では、ランリュックについては、教科書の大きさに合わせて平成26年度より、軽量化されたものを採用し、児童の登下校の安全に配慮してまいりました。中学校においては、自転車通学時に通学かばんを両肩で背負い、安定した状態で乗れるよう指導し、今後とも児童生徒が安全に登下校できるよう配慮してまいります。

また学習状況については、町内の全ての小中学校において児童生

徒への補習や講座を開催し、一人一人の児童生徒の学力を着実に伸ばすための特色ある取り組みを行っているっております。中学校においては、夏季休業中に全学年を対象とした補習を開催しました。

今後とも教育委員会といたしましては、各学校との連携を強めるとともに、保護者への情報提供、学習環境の整備、充実に努め、児童生徒がよりよい環境のもとで学ぶことができるよう支援してまいります。



ランリュック

神川町の学校教育について



福島康弘議員

「小学校の統合は」

町には、現在4つの小学校があります。各学校の児童数は、丹荘372名、青柳219名、渡瀬42名、神泉16名となっております。渡瀬、神泉の2校が特に児童数が減少しています。神泉小学校には、同

答え 町長



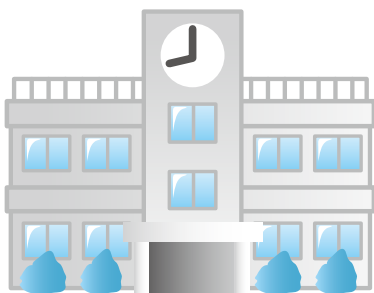
「町民の皆様の意見を十分に尊重し検討してまいります」

学校は、地域の教育行政のなめとしての役割だけではなく、地域コミュニティにおいても重要な役割を有しているものと考えております。安易に小学校の統合をすることは地域の衰退等も懸念されますので、町民の皆様の意見を十分に尊重し、統廃合することのメリットやデメリットについて十分に検討するとともに、子供たちにとってどういった教育環境で過ご

級生のいない学年もあります。内訳は、6年生1名、5年生3名、4年生3名、3年生5名、2年生3名、1年生1名です。同級生が居ないという事で、5年生のときに6年生と合同で修学旅行に一緒に行つたという話も聞きました。

子供たちのことを思えば、地域の反対はあると思いますが、統合へ向けて準備をした方がいいのではないかと思います。運動会、修学旅行、学校行事にしても本当に子供達が楽しい学校生活を送れているのでしょうか。町として小学校の統合は、どのようにお考えですか町長にお尋ねします。

すことが最善なのかということも判断材料としながら、小学校の統合について検討してまいりたいと思います。





赤羽 奈保子 議員

情報のバリアフリーについて

「読書権（読み書き支援）・耳が聞こえない方の支援は」

情報のバリアフリーについて伺います。まず読書権（読み書き支援）についてです。情報化社会の中で、読むこと、書くことが困難なため情報が制限され、日常生活のさまざまな場面で困っている方がたくさんいます。役場などの窓口対応で、意思疎通ができるような対応ができるかという考えますが、町の考えを伺います。

次に聞こえない方や言語に障害のある方への支援について伺います。県内の自治体では窓口でタブレットを使いさまざまな支援を提供するシステムを7月から導入しサービスを開始したとのこと。町でもタブレット等を利用し、話せるアプリなどを例えば、筆談よりも細かい情報をお伝えすることができると考えますが、そういったツールを窓口で活用していく考えはあるかお伺いします。

答え 町長



「環境の整備やコスト面などを考慮し、検討します」

高齢化が進む中、視覚に障害のある方だけでなく、読み書きに支援が必要な方が増えてきております。視力の低い方が窓口での手続を行う際に正確な情報を得て自ら



の意思を伝えることは非常に重要です。

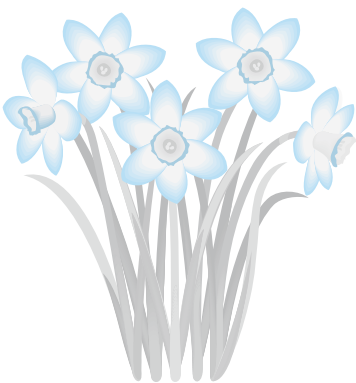
現在町では、窓口への老眼鏡や拡大鏡の設置、また必要に応じて申請書等の読み上げや代筆などの支援を行っており、今後も意思疎通支援を行っていきたいと考えております。

耳が聞こえない方に対しての窓口対応として、筆談等により対応しております。また、手話通訳者が必要な方に対しては、町から委託を受けている団体から通訳者が派遣され、窓口に同席します。

音声認識機能等タブレット端末

の窓口設置についてですが、聴覚に障害のある方や音声や言語に障害のある方への情報支援として有効である一方で、ご高齢の方にとっては画面サイズの制限により、文字の見やすさなどに課題があるのではないかと考えております。町としては、他の自治体の事例を参考にしながら、設置する上での環境の整備やコスト面などを考慮し、検討してまいります。

※一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページでも閲覧出来ます。



議案審議の結果

9月定例会は、平成28年度一般会計や特別会計決算、平成29年度一般会計及び特別会計補正予算、条例改正などが審議され、それぞれ原案どおり可決されました。

人事関係

◎人権擁護委員候補者に野口幸子氏を同意

人権擁護委員候補者に町長から同意案が提出され、同意されました。

神川町大字植竹840番地3
昭和27年7月18日生

条例関係

◎神川町営住宅条例の一部を改正する条例

公営住宅法施行令の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

予算関係

◎平成29年度神川町一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ1億7,613万9千円を追加し、総額を69億8,636万7千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

国庫支出金 263万4千円

県支出金 429万円

繰入金 ▲7,451万5千円

繰越金 1億9,847万円

諸収入 1,146万円

町債 3,380万円

○歳出に追加された主な項目

〔議会費〕 ▲32万8千円

〔総務費〕

1億6,597万7千円

〔民生費〕 ▲323万5千円

〔衛生費〕 1,214万9千円

〔農林水産業費〕 187万8千円

〔商工費〕 70万7千円
〔土木費〕 ▲920万4千円
〔消防費〕 267万2千円
〔教育費〕 552万3千円

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

事業勘定の歳入歳出それぞれ、564万7千円を追加し、総額を20億3,213万5千円とし、施設勘定の歳入歳出それぞれ、61万7千円を減額し、総額を1億647万8千円とするもの。

事業勘定

○歳入に追加された主な項目

繰入金 ▲118万8千円

繰越金 1,683万5千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 ▲118万8千円

諸支出金 1,683万5千円

施設勘定

○歳入に追加された項目

繰入金 ▲61万7千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 ▲61万7千円

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ、124万8千円を減額し、総額を1億1,803万3千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 ▲124万8千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 ▲124万8千円

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ、5,996万7千円を追加し、総額を10億6,666万5千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

国庫支出金 74万5千円

支払基金交付金 44万6千円

繰入金 160万3千円

繰越金 5,717万3千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 234万8千円

基金積立金

2,737万2千円

諸支出金 3,024万7千円

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町観光事業特別
会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ、70万円を追加し、総額を2,394万7千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 ▲325万6千円

繰越金 395万6千円

○歳出に追加された主な項目

事業費 70万円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ、72万6千円を減額し、総額を1億5,635万8千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 ▲666万4千円

繰越金 593万8千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 ▲72万6千円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成29年度神川町水道事業会計補正予算（第1号）

第3条予算の水道事業収益に

760万円を追加し、補正後の額を3億3,573万6千円とし、支出では水道事業費用に1,924万3千円を追加し、補正後の額を3億480万6千円とするもの。第4条予算の資本的支出に422万円を追加し、補正後の額を1億1,948万7千円とするもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

決算関係

◎平成28年度神川町一般会計歳入

歳出決算の認定について

歳入総額69億6,598万6千円、歳出総額65億3,514万6千円の決算を認定するもの。詳しくは「広報かみかわ10月号」をご覧ください。

〈審議結果〉賛成多数 原案可決

◎平成28年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額10億1,755万3千円、歳出総額9億6,038万円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成28年度神川町住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億1,406万5千円、歳出総額1億1,237万1千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成28年度神川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億1,406万5千円、歳出総額1億1,237万1千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成28年度神川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額10億1,755万3千円、歳出総額9億6,038万円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成28年度神川町住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億1,406万5千円、歳出総額1億1,237万1千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成28年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億1,406万5千円、歳出総額1億1,237万1千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

歳入総額155万6千円、歳出総額155万6千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成28年度神川町営バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額932万3千円、歳出総額820万7千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成28年度神川町観光事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額2,764万9千円、歳出総額2,369万1千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成28年度神川町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億6,743万2千円、歳出総額1億5,849万4千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成28年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億6,743万2千円、歳出総額1億5,849万4千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成28年度神川町住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億6,743万2千円、歳出総額1億5,849万4千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成28年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億6,743万2千円、歳出総額1億5,849万4千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成28年度神川町住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億6,743万2千円、歳出総額1億5,849万4千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成28年度神川町水道事業会計
歳入歳出決算の認定について

事業収益が3億3,267万
円、事業費用が2億8,509万
8千円、資本的収入が、97万2千
円、資本的支出が1億464万9
千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決

報告

◎平成28年度神川町健全化判断比
率について

◎平成28年度神川町資金不足比率
について

〈審議結果〉 全員賛成 原案承認

陳情

◎総務経済常任委員会

件名 肥土地内町道4378

号線の道路舗装整備等
について

要旨 近隣住民の利用が多く、
墓地も隣接し欠かせな
い道路であるが、雑草
が生い茂って歩行しに
くいため舗装整備のお
願い

陳情者 肥土区長 鈴木 卓佳
〈審議結果〉 採 択

件名 肥土地内町道4389

号線の道路舗装整備等
について

要旨 舗装の痛みがひどく路
面がでこぼこしていて、
危険なため舗装改修整
備のお願い

陳情者 肥土区長 鈴木 卓佳
〈審議結果〉 採 択

件名 元阿保地内町道382

4号線の側溝整備と安
全対策について

要旨 最近交通量が増え接触
事故等があり危険で大
雨時の水の流れが悪い
ため側溝整備のお願い

陳情者 元阿保区長 伊藤 環
〈審議結果〉 採 択

件名 新里地内町道6095

号線の舗装修繕につい
て

要旨 舗装の痛みと陥没がひ
どく、通学路にもなっ
ており危険であるため
舗装修繕のお願い

陳情者 前組区長 中井 健一
〈審議結果〉 採 択

件名 新里地内町道112号

要旨 線の舗装修繕について
舗装の痛みがひどく、
騒音が生じ困るので舗
装修繕のお願い

陳情者 前組区長 中井 健一
〈審議結果〉 採 択

件名 新里地内町道2110号

要旨 線の舗装修繕について
通学路で舗装の痛みが
ひどく側溝も小さく溢
れてしまうため舗装、
側溝布設替えのお願い

陳情者 新里区長 中井 健一
〈審議結果〉 採 択



現地調査

◎議員派遣の件

地方自治法第100条第13号及
び神川町議会会議規則第122条
の規定により、議員を派遣する。

〈審議結果〉 全員賛成 原案可決



視察研修に行ってきました

神川町議会では、8月23日(水)に13名の議員が参加し、石川県金沢市「share金沢」の視察研修を行いました。

世代も、障がいの有無も越えたごちゃまぜのコミュニティづくりとし、障がい者や高齢者が社会から隔離されことなく、みんなが共に助け合っていく地域交流の拠点をつくることを目的とした社会福祉法人佛子園が運営している施設を視察してきました。



視察研修 (share金沢)



視察研修 (share金沢)

議会日誌

※本日誌は、主に議長出席の行事を掲載しています。

8月

1日 全員協議会
議会活性化特別委員会
2日 郡議長会前期研修
3日、4日 広域圏議会視察(栃木・宮城県)
5日 老健かみかわ納涼祭
6日 わたど納涼祭
13日 神泉納涼祭
17日 国保運営協議会
18日 北部ブロック国保協議会



30日 わたるせ納涼祭
29日 八日市納涼祭
ルピナス神川サマーフェスティバル
28日 中学生議会
25日 議会運営委員会(臨時)
24日 青柳保育所夏祭り
23日 いろいろの友納涼祭
22日 畜場運営委員会
21日 議会運営委員会(臨時)
20日 元阿保ふれあいグラウンド
19日 ゴルフ&バーベキュー大会、植竹サマーフェスティバル

7月

4日、5日 県議長会視察研修(千葉県)
8日 児玉分署竣工式
19日 夏の交通事故防止キャンペーン
21日 新庁舎安全祈願祭
22日 丹荘保育所夏まつり
23日 元阿保ふれあいグラウンド
24日 ゴルフ&バーベキュー大会、植竹サマーフェスティバル
25日 いろいろの友納涼祭
26日 畜場運営委員会
27日 議会運営委員会(臨時)
28日 青柳保育所夏祭り
29日 八日市納涼祭
30日 わたるせ納涼祭



9月

1日 全員協議会
議会活性化特別委員会
2日 神中吹奏楽部定期演奏会
3日 第4回定例議会(一般質問)
4日 第4回定例議会(決算説明)
5日 第4回定例議会(決算説明、補正予算説明等)
6日 フィンランド大使訪町
7日 神中文化の日
8日 文教厚生常任委員会協議会
9日 総務経済常任委員会・協議会
10日 第4回定例議会(決算質疑、採決)
11日 第4回定例議会(条例、補正予算等質疑採決)
12日 神川中学校体育祭
13日 秋の交通安全街頭キャンペーン
14日 県議会政策研修会
15日 広域圏議会
16日 総合計画審議会
17日 全員協議会
18日 議会活性化特別委員会
19日 運動会(丹荘・青柳・渡瀬・神泉各小学校)

19日 事故なし(梨)キャンペーン
20日 前組地区納涼祭
21日 梨連合会共進会
22日 町議会議員視察研修(石川県金沢市)
23日 議会運営委員会
24日 全員協議会
25日 議会活性化特別委員会
26日 神中吹奏楽部定期演奏会
27日 第4回定例議会(一般質問)
28日 第4回定例議会(決算説明)
29日 第4回定例議会(決算説明、補正予算説明等)
30日 フィンランド大使訪町
31日 神中文化の日
10月 文教厚生常任委員会協議会
11日 総務経済常任委員会・協議会
12日 第4回定例議会(決算質疑、採決)
13日 第4回定例議会(条例、補正予算等質疑採決)
14日 神川中学校体育祭
15日 秋の交通安全街頭キャンペーン
16日 県議会政策研修会
17日 広域圏議会
18日 総合計画審議会
19日 全員協議会
20日 議会活性化特別委員会
21日 運動会(丹荘・青柳・渡瀬・神泉各小学校)

